

●ガバナー 成田 秀治 ●会長 西尾 和樹 ●幹事 慶徳 拓也 ●コミュニケーション委員長 吉田 立盛

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2020/

## 第 2209 回 例会 記録

《コミュニケーション委員会担当例会》

2022 年 5 月 12 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1641

## 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか



### 《会長要件》西尾会長



みなさん、こんにちは。5 月になりました。お手元にあるロータリーの友 5 月号について、紹介します。

まず、ウクライナのロータリーについて、その歴史と現地のロータリアンの報告が掲載されています。

以前、会長要件の中で、国際ロータリー CEO 兼事務総長のジョン・ヒューコ氏のお話を紹介させていただきましたが、そのお父さんが首都キーウ（キエフ）初のロータリークラブ創立に貢献されたというお話などが載っています。

また、E クラブの会長エレクトは、「クリミア侵攻により、多くのロータリークラブやロータリアンが半島の混乱や紛争から逃れ、それまでのような奉仕活動ができなくなりました。私は、ウクライナ西部のリビウに移りましたが、心の傷は大きく、新しい生活に溶け込むのに時間がかかりました。幸いなことにウクライナに E クラブができ、クリミアの元住民や他の占領地域から逃れたロータリアンが、引き続きロータリーに参加できるようになりました。特に移住した当初は、クラブでのお互いのサポートが非常にありがたかった」「どこに住んでいてもロータリアンであり続けることができました」と語られています。心の支えとなる人とのつながりは、心強いものだと思えました。

もうひとつ、36 ページにニュージェネレーションというコーナーに、茨城県の下館工業高校インターアクトクラブの元会長のインタビューの中に、初代会長として、戸惑いながらも、2820 地区の新井ガバナーの「海岸清掃活動を通して、市民一人ひとりがごみの処分などに関心を持ち、地球の未来を思おう」「まずは小さなことから自分で持続できることから始めよう」という言葉を聞いて、とても感銘を受け、考え方が大きく変わり、小さなことでも周りのために自分ができることは何かと考えるようになり、クラブの活動で、プランターで花を育て市役所に贈呈したそうです。

先日、当クラブでは、蕪島海岸清掃を行いました。

### 《出席報告》中村委員長

正会員数 31 名。本日の出席は免除会員 7 名を含む 21 名。出席率は 72.4% です。



社会奉仕活動と青少年奉仕活動としてこれまで実施してきており、八戸高校インターアクトクラブと一緒に活動をしてきました。青少年に伝えたいことはみなさん同じだと思います。青少年奉仕活動も盛んにできる状況になることを祈っています。

さて、このロータリーの友にまつわるエピソードを大澤会員にお話ししていただきます。大澤会員、よろしくお願いたします。

### 《本人誕生日》西村会員



こんにちは、西村です。昨年 70 歳の大台に乗ったと思ったらあっという間に 71 で、だんだん後期高齢者の方に近づいてきているのかなというような気がしています。信じられませんが気が付くと、遠く離れている孫に会うのを楽しみにしている、ただの爺さんになりつつありますけれども、幸い身体は丈夫で元氣ですので、周りの方のお世話になることなく本業でも、ロータリーの活動でも、皆さんのお世話をする仕事を続けていきたいと願っております。よろしくお願いたします。

信じられませんが気が付くと、遠く離れている孫に会うのを楽しみにしている、ただの爺さんになりつつありますけれども、幸い身体は丈夫で元氣ですので、周りの方のお世話になることなく本業でも、ロータリーの活動でも、皆さんのお世話をする仕事を続けていきたいと願っております。よろしくお願いたします。

### 《配偶者誕生日》



久保田会員

### 《結婚記念日》



野澤会員

### 《幹事報告》慶徳幹事

・理事会報告

○6 月のプログラム、6 月 2 日 (木) 任意休会、6 月



9日(木)初夏のスポーツ例会として6月11日(土)に例会変更、パークゴルフを予定していますが詳細は決まり次第お知らせします。6月16日(木)年度末各委員会報告例会、6月23日(木)年度末慰労例会、18時30分パークホテル、当日は南風会のゴルフも予定しています。6月30日(木)新旧バッジ伝達式です。

○現・次年度の合同理事会を6月9日(木)12時30分からパークホテルで行います。

○4月から例会後のラウンジコーヒー代にサービス料が加算されています。

- ・地区研修協議会の資料を出席の方に送っていましたが、本日新しい資料が届きましたので、改めて一緒に送ります。ご確認お願い致します。
- ・今月のロータリーレートは1ドル130円です。
- ・ザ・ロータリアン英語版が届いています。
- ・よろず相談のポスター、チラシが残っていますので、お持ち帰りの上周知をお願いします。

《ニコニコボックス》米内副委員長

西尾会長：大澤会員、本日よろしくお願いいいたします。

慶徳幹事：大澤会員、卓話楽しみにしています。

黒田会員：伊藤さん、会報原稿ではご指導ありがとうございました。

野澤会員：夫婦共々元気に今日5月12日結婚記念日です。

赤穂会員：大澤会員、本日の卓話楽しみにしております。

大澤会員：無事、社会復帰しました。お心遣いありがとうございました。

久保田会員：コーヒータイム利用させていただいております。

熊谷会員：コーヒータイム、楽しく利用させていただいています。

米内会員：大澤先生お話し楽しみです。

松田会員：大澤会員、本日はよろしくお願いいいたします。

中村会員：大澤会員、本日はよろしくお願いいいたします。

本人誕生日：西村会員  
配偶者誕生日：久保田会員  
結婚記念日：野澤会員

《蕪島海岸清掃お礼》野澤会員

こないだは蕪島の清掃奉仕ありがとうございました。今日の新聞にも出ていたと思いますが、ウミネコが一晩に百十何羽けがをして死んだ鳥も多く鳥インフルエンザかと検査しましたが、そうではなくてタヌキやキツネが出ているようだということでした。早くどうにかしてほしいとお願いいしていたのですが動きが遅く、結局こういうことになってしまいました。それはともかくとして、先日の清掃奉仕が新聞に載ったことによって、ロータリーはこういうことになっているんだということが少しは分かってもらえたかと思ひます。これからもよろしくお願いいいたします。



《国際奉仕委員会》熊谷委員

本日赤穂会員より米山にご寄付を頂戴しました。赤穂会員ありがとうございました。

《コミュニケーション委員会》吉田立盛委員長

皆様こんにちは、コミュニケーション委員会の吉田です。コミュニケーション委員会ではロータリーの友にクラブや地区など関係のある記事が載っている時に、皆さんにご紹介してきました。普段何気なく読んでいたロータリーの友ですが、南ロータリークラブの歴史の中で2名の方がロータリーの友の編集委員をされています。今日は黒田先生のガバナー年度に一人目の編集委員を務めた大澤会員に、当時のエピソードなどを話していただければと卓話をお願いしました。会社の歴史を知れば会社への忠誠心とか帰属意識が高まるということを知っておりますので、クラブの歴史を知ることで皆さんの南クラブへの帰属意識がより高まって、クラブに愛着がわくような話をさせていただけるのではと、勝手に期待しております。今日のために黒田先生からお借りした当時のロータリーの友を皆さんにも回覧しますのでご覧になってください。それでは大澤会員、よろしくお願いいいたします。



《会員卓話》大澤会員

皆さんこんにちは、先程ニコニコで社会復帰しましたと紹介がありましたが、どっか塀の高いところから出てきたのかなと思った人がいるかもしれませんが、又、色々私の話を期待して下さっている方が多いようですが、果たして面白いかどうか、自分としてはあまり自信がありません。

私がロータリーの友の編集委員、当時は地区代表委員と言いましたが、これを務めたのは黒田先生が1回目のガバナーをやられた1998年から1999年の年度です。黒田先生から指名されました。皆さんにお配りした資料の1番上は地区のガバナーご夫妻と役員紹介の記事です。この写真はおそらく25年くらい前だと思います、ずいぶん若い写真です。資料の2枚目にロータリーの友の組織表のようなものがあり、委員の氏名が掲載されています。今でもこの委員会はありまして、今月号のロータリーの友、横組みの48ページに委員会組織表が掲載されています。この二つを比べてみますと、今はロータリーの友事務所は社団法人になっていて、25年前と違うのはそこそこあたりかなと、基本的なことはだいたい同じだと思います。





をしている方には申し訳ないですが仏壇とか、墓石とか、これは無くすべきではないかと考えまして、委員会に行ったら話してみようと考えていましたけれど、黒田先生にご迷惑をかけるわけにはいかないので、黒田先生に相談しました。そうしたら、「どんどんやれやれ」と積極的でした。広告を載せるにしても世界大会に行くツアーの広告ぐらいは良いのではないかということで、そのまんまの意見を述べました。「ツアーの広告以外は廃止すべきだ」と、その理由はいくつかあるわけですが、私がお話したのを思い出してみると、奉仕団体の機関紙の発行が、広告の支援を受けるというのはふさわしくないのではないか、「友」の内容とは異質のものが入り込んでいてすわりが悪い、広告を並べるのは品性にかけるのではないか、あるいは、会員1人当たり月30円、年360円を出せば広告に頼る必要はないというようなことを、あれこれ言ったわけですが、その意見を言う度に「それは大澤さんの持論でありまして」と軽くいなされて終わりました、こちらも意地にな

り毎回言ってやろうと、最後の辺りに「広告の件はどうなりましたでしょうか、検討されましたか」と言ったら、又、「持論で」というようなことでしたが、私も「友」の委員をやめてからはそのことを忘れていたわけですが、いつの間にか、私の意見が取り入れられたのかどうかわかりませんが、「友」からきれいに世界大会のツアーの広告以外無くなっていて、それに気づいたときにはびっくりしました。まさか私の影響なのかなと、そんなことがありました。

私が皆さんにもう一つ言いたかったのは「友」というのは投稿するのは自由ですから、自分で何か感じることを、みんなに知ってもらいたいことがあったらどんどん投稿してみるといいと思います。いろいろなコーナーがありますから。先程吉田立盛さんがクラブへの帰属意識とか所属意識とかそういうことを言いましたが、投稿して自分の原稿が載れば、更に帰属意識が高まっていくのではないかと、そのように思います。